

# 平成30年度第3回神岡地域協議会会議録

平成30年9月5日

神岡地域協議会

## 平成30年度第3回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	4
■協議	4
地域協働雪対策事業について	4
地域枠予算活用事業について	5
■その他	8
地域枠予算の運用に係るガイドラインの変更について	8
大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査会について	8
地域公共交通に関する提言について	9
神岡地域協議会の委員研修について	10
■閉会	14
■署名	14

# 平成30年度 第3回神岡地域協議会 会議録

---

■日 時：平成30年9月5日（水） 午前10時

■会 場：神岡支所 3階 大会議室

■出席委員： 13名

齊 藤 亘、今 真 弓、齊 藤 恵 子、齊 藤 劦、  
齊 藤 由 紀、佐々木 徹、鈴 木 幸 一、鈴 木 美 保、  
高 橋 しげ子、中 村 淑 子、伊 藤 明 美、久米川 和 行、  
傳 野 和 樹、今 野 公 行

■欠席委員： 3名

鈴 木 幸 寿、齊 藤 博

■出席職員： 6名

齊 藤 博 美（神岡支所長）  
小田原 一 春（市民サービス課長）  
岩 根 浩 幸（農林建設課長）  
黒 川 博（神岡中央館長）  
齊 藤 義 則（市民サービス課）  
舩 谷 恵理子（地域活性化推進室 主幹）  
及 川 隼 平（地域活性化推進室 主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名員の指名
- 4 案 件
  - （1）地域協働雪対策事業について【説明】
  - （2）地域枠予算活用事業について【協議】
- 6 そ の 他
  - （1）地域枠予算の運用に係るガイドラインの変更について【説明】
  - （2）大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業に審査会の結果について【報告】
  - （3）地域公共交通に関する提言について【説明】
- 7 閉 会

---

(午前10時 開会)

○小田原市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

おはようございます。昨日の台風で寝不足の方もいらっしゃるかと思いますが、本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

ただ今から平成30年度第3回地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、齋藤会長よりごあいさつをいただきます。

○齋藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

おはようございます。第3回神岡地域協議会のご案内を差し上げた所、お集まりいただきましてありがとうございます。先月の北檜岡地区の熊野神社の祭典も過ぎまして、210日も過ぎ、いよいよ来週には神宮寺八幡神社の祭典と秋もだんだん深まって参りました。210日過ぎると台風ということで、昨日心配されました台風21号ですが、市でも対策室を立ち上げて対応して頂いたわけですが、北檜岡地区の住宅で屋根のトタンがはがれるという被害があったそうです。幸いにも人的被害はなかったので、最小限の被害に止まりほっとしておるところです。

前回お話しさせていただいた神岡地域協議会の自主事業と研修会について説明があると思います。皆様のご意見を頂戴しながら今日の案件を進めていきたいと思しますのでよろしく願いいたします。

○市民サービス課長

ありがとうございました。

続きまして、齋藤支所長よりごあいさつを申し上げます。

○齋藤神岡支所長（以下「支所長」と表記）

皆様おはようございます。本日、第3回の神岡地域協議会を開催しましたところ、委員の皆様には台風一過でお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。会長からもお話しがりましたが、早朝から被害調査をしまして、この後第二報、三報と市全体の被害報告を取りまとめることとなっておりますが、午前7時30分現在では、当地域は大きな被害はないという事です。昨日テレビ等を見た方はお分かりかと思いますが、太田地域の方では停電等ございました。昨今の災害を見ても、台風の被害が大きくなってしまふのは太田、中仙の東部側、水害は西部側といったような被害の傾向も見えてきたのではないかという感じもしております。

それでは、6月の協議会以降の当支所管内の出来事を報告いたします。

はじめに6月30日に開催されました東京嶽雄会、神岡のふるさと会ですが、当支所からは私と小田原市民サービス課長が出席しました。当日はふるさと会の会員、大仙市からは市長をはじめとするご来賓、約70名の出席で東京の麴町で開催されまし

た。今回は私設応援団という事で地元から3名の方が参加してくださいました。

皆様もご都合付きましたら、次回に私設応援団ということで、是非、ご参加をご検討願います。

次に7月3日は皆様のご協力をいただき、平和中学校で第6回目となる避難所開設訓練が開催されました。また同じく17日には、水害を想定した地域避難訓練を神岡小学校さんで実施して下さっております。こちらは地域の方約50名が訓練に参加して下さいました。冒頭の方でも少しお話ししましたが、残念なことに大仙市内でも神岡地域は比較的水害の被害が多い地域となっております。こういう地域にとって、いざという時には「ここに避難できるよ」という意識を住民の皆さんからもっていただく上でも大変心強い訓練であります。神岡地域の小中学校には今年5月の水害の際に避難所を開設するに当たり、対策室が立ちあがった段階から両小学校中学校の校長先生から「我々はいつでも準備していますから」という事で何度も連絡をいただいて、実際、避難所を開設したのは夜だったのですが、両校とも校長先生始め、教職員の方が登校して下さいまして、避難所を開設のご協力をいただいております。改めて、感謝申し上げる次第であります。

7月14日から16日までは、第2回の全国500歳野球大会が、県内外から32チームが参加し開催されております。さらに28日から30日までは全県550歳大会が開催されておまして、当地域からは、神宮寺嶽クラブが両大会に参加しておりましたが、残念ながら上位入賞は果たせなかったようです。

地域の子どもの活躍といたしましては、平和中学校の女子バドミントンが全県大会で団体優勝と、ダブルスでは1位から3位まで独占した完全優勝というような形で東北大会に出場しております。スポ少野球では、神岡小学校も頑張ってくださいまして、特にアシックス大会では決勝で同点、抽選で惜しくも準優勝という結果となっております。

大仙市全体の動きになりますが、8月25日に開催された全国花火競技大会では、台風19号、20号と二つの大きな台風が近づく中での開催となりましたが、おかげさまで大きな事故もなく、全国から75万人の観衆を集め無事に開催されました。8月5日にオープンいたしました、花火伝統文化継承資料館「花火アム」ですけれども花火大会の当日来館者が1,873人と大盛況だったようであります。

なお、8月28日に開会で、現在議会開会中の9月定例議会ですが、当地域に関わる議案といたしましては、任期満了となります神岡地域の人権擁護委員の候補推薦を現在の中沢宏哉氏を再推薦する事への議会より同意をいただいております。そして、笹倉公園のスカイサイクルが撤去されましたので、こちらの廃止に係る条例がこの後常任委員会で審査されることとなっております。

最後に9月ですが、明日6日には平和中学校さんが、震災の被災地であります岩手県の大槌町との交流事業で、地域の皆さんからご協力いただいた鉄くず回収の収益金で、花火を打ち上げることとなっております。9月11日には神岡地域の「敬老会」

がユメリアで、14日には第39回の「神岡・南外花火大会」が開催されます。

22日からはいよいよ第40回の全県500歳野球大会がスタートするわけですが、全県から184チームの参加をいただくこととなっております。前回の地域協議会で今年の5月の水害で、中川原グラウンドが今年度いっぱい使用できないとご報告させていただいたところでしたが、災害復旧工事を行っている業者さんから、特段のご協力をいただきまして、9月の全県野球大会には中川原球場が使えることとなりまして、今年も神岡地域5会場で熱戦が繰り広げられますので、どうか皆様も会場に足を運んでいただき声援をくださいますようお願いいたします。

今年の夏は大変な猛暑でもありましたが、見舞われました大雨などの災害が危惧されるような天候も何度もございまして、市でも8月5日花火アムのオープンの日でしたが、午前中に記録的短時間集中豪雨的な雨に見舞われた時から、昨日の台風21号の対策室まで、5回災害対策室を立ち上げております。北檜岡のお祭りの時も雨で対策室が立ち上がってございましたけれども、週1回災害対策室を立ち上げて対応にあたっているところであります。今回の台風を最後に今後大きな災害がなく、実りの秋を迎えられることをお祈りいたしまして、挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく申し上げます。

#### ○市民サービス課長

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長をお願いいたします。

#### ○会長

それでは会議を始めます。本日、齊藤 博委員、鈴木幸寿委員より欠席の届けが出席されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、3番今 真弓委員と14番高橋 しげ子委員をお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。

はじめに、「地域協働雪対策事業について」、事務局より説明をお願いします。

#### ○市民サービス課 齊藤副主幹

【資料「地域協働雪対策事業チラシ」に基づき説明】

#### ○会長

それでは、地域協働雪対策事業について、委員の皆様からご意見・ご質問等ございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

なければこの件につきましては、以上といたします。

ここで、市民サービス課、齊藤副主幹は退席となります。

続きまして「地域枠予算活用事業について」、事務局より説明をお願いします。

## ○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

### 【資料No.1に基づき説明】

## ○会長

それでは、資料No.1の事業について、協議していきたいと思います。

「かみおか地域文化祭実行委員」による「かみおか地域文化祭」について、まず、実行委員長であります齊藤実行委員長から、この件について補足等ありませんか。

## ○齊藤 劭委員

毎年行われている地域文化祭ですが、今年は趣向を変えて、最初に嶽ドームに集合してから、さまざまなイベントに分散するという形で試験的に行います。大勢の方のご来庁をお待ちしております。よろしくをお願いします。

## ○会長

ありがとうございました。

昨年度まで2日間行っていましたが、備考の欄にあるように今年は短縮して1日で行うという予定です。

それでは、この件につきまして、ご意見等ございますでしょうか。

なければ、神岡地域文化祭についてご承認いただいたということでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

## ○会長

ありがとうございました。資料No.1の市民協働型・市民主導型事業の協議は以上といたします。

続いて、行政主導型事業について、一括で協議いたします。事務局から説明をお願いします。

## ○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

### 【資料No.2に基づき説明】

## ○会長

ありがとうございました。それでは、2件の行政主導型について、一括で協議いたします。皆さんからご意見・ご質問等ございませんか。

## ○佐々木 徹委員

1の方で伺いたいのですが、チューリップということですが、チューリップは花が咲いて散るまでの期間が短いというイメージを持っています。せっかく植えてみんなに見てもらおうというのであれば、長持ちする花がいいのではないのでしょうか。

## ○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

チューリップにした経緯ですが、音楽交流館の位置している場所が遠い事から、手間をかけて維持していくのが難しいということがありました。手間を掛けずに、きれいに咲くのは何か試行錯誤しまして、まず、春に花を咲かせるため、チューリップの球根に落ち着いた次第でございます。チューリップが終わった後、他の花を植えることについては、今後検討していきたいと思っております。

## ○会長

補足いたしますと、「まずは我々委員から行動してみましよう。」というところから始まりました。長期間観賞できるものだと、冠水作業もありますし、いろいろと手間がかかり、我々だけでは手に負えないだろうということでした。まずは、取っ掛かりとして秋に植えて春に花を咲かせて、そこから興味をもった団体が生まれれば、地域予算の事業として載せていけるのではないかという希望をもちながらのアイデアでしたので、ご協力、ご理解のほどをお願いいたします。後程ご連絡しますが、球根の植え込み等の作業について皆さんのご協力をお願いしたいと思っております。

## ○佐々木 徹委員

了解しました。

## ○中村 淑子委員

そうしますと、花壇の土を耕す作業はどうするのでしょうか。

## ○会長

そちらは、事務局と私が行います。この前、県の指導して下さる方と支所長、事務局、私とで見に行きましたが、長い間植えていないので、土も固く雑草がたくさん生えている状態でした。草刈りは、北檜岡の有志の方が県から委託を受けて、年数回刈って下さっているようですが、植えるまでの準備は私の方でいたします。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

補足ですが、植える前に第4回の協議会を予定していますので、その時に詳細をお知らせいたします。

○会長

他に何かあればお願いいたします。

カレンダーの写真の選考はどのようにするのでしょうか。なにか特別委員のようなものを設けて行いますか。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

来週中には写友「嶽」の皆さんから、写真の提供がある予定です。その中から13枚ほど厳選します。選考の日程は未定ですが、委員の皆様は、可能な限り集まっていたら選考していただく形がよろしいでしょうか。

○会長

全員でなくても、何人かで選出して、地域協議会で報告して頂くのがいいかと思いますが。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

そうしますと、各班長さんに集まっていたら選考するという形にしたいと思えます。日程が決まり次第連絡いたしますので、よろしくをお願いします。

○佐々木 徹委員

カレンダーはどうやって配布する予定でしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

カレンダーの業者の納付は11月末までにしておりますので、広報の12月15日地域お知らせ版の時に、一緒に配布する予定です。

○佐々木 徹委員

町内世帯数より多い部数ですが、残りはどのようにするのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

市内の公共施設と残数によりますが、市外も考えております。

○会長

カレンダーですので、1年だけではもったいないですね。継続していきたいと思いますが、予算の取り方は大丈夫でしょうか。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

確実に予算が取れるかという確証はないですが、協和さん、仙北さんでもカレンダー事業をやっておりますが、2年以上継続してやっているところを見ると、来年度の神岡も大丈夫ではないかと思っております。

○会長

ありがとうございました。他にありませんか。

それではただ今の2件の行政主導型事業について、承認していただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございました。行政主導型の事業は以上といたします。

次に「地域枠予算の運用に係るガイドラインの変更について」の説明を、事務局からお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

【資料 No. 3 に基づき説明】

○会長

それではただ今の説明について、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ないようですので、「地域枠予算の運用に係るガイドラインの変更について」は以上とさせていただきます。

続きまして「大仙市人づくり・ものづくり応援事業審査会の結果について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

【資料 No. 3 に基づき説明】

## ○会長

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問等ございませんでしょうか。

これで3件目の事業となります。審査会に私もお案内をいただいておりますが、事業を行うにあたって、主導団体の立ち上げと代表者の決定にどの地域も難儀しているようです。地域のために自ら立ち上がろうとする地域の皆さんの意識向上を図っていかなければいけないが、難しさを感じます。

他にご質問等ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ないようですので「大仙市ひとつづくり・ものづくり応援事業審査会の結果について」は以上といたします。

続いて、「地域公共交通に関する提言について」事務局からお願いします。

## ○市民サービス課長

【資料No.5に基づき説明】

## ○会長

ただ今の説明につきまして、ご意見ご質問等ございませんか。

地域公共交通というとバス、タクシーと限定されてくると思いますが、先ほどのひとつづくり、ものづくり応援事業で、南外地域のさいかい市ですが、店舗が無くなって地域の集う場所、買い物する場所がないという現状で新たに店舗を設けようという考え方のもとでの事業でしたが、交通機関の不便な方が店を作ったところで果たして、集まれるのかという矛盾したところを質問して、それよりだったら店舗を動かしたほうが利用価値があるのではないかという提案をしながら、地域公共交通のお話しもさせてもらいました。やはり今の段階ではバス、タクシーしかないということで、ご近所の自家用車となると補償の問題等あり、大変難しいのかなと考えています。

## ○鈴木勲委員

地域公共交通の会議に出席しておりますが、旧8市町村それぞれに事情が違います。当地域では鉄道も通っているし、国道もありますが、どちらもない地域や小さな集落が点在している地域等本当にさまざまであります。しかし、市の財政が、年々20%30%と縮小されていくなかで、現状のまま予算が投じられて、バス会社さん、タクシー会社さんに継続してお支払いして運行して頂くというのは、非常に難しくなっていくと感じています。年間10億近いお金を支払っていて、国や県の補助は1割ずづ

で、8割は市で賄わなければいけない本当に厳しい現状です。ただ、私を含めた団塊の世代が10年後、20年後に免許返納等で地域公共交通を頼りにする人口が増えるのはまちがないのかなと思います。その時点で人口減による更なる市の財源不足と重なった時には、今現在大仙市で行っている地域公共交通の体制というのは維持できないと思っています。交通弱者を手助けするために、自治会が中心となって行政と手を携えて、例えば、他の地域でもやっておりますが、NPO法人を立ち上げて登録した人間と登録した車で運行するという事になっていくのではないかと考えます。コミュニティバスは、低料金ですが、本数が少なく利用者の希望の時間帯と合わないという事があり、利用者は少ないというのが現状です。要望を聞いて要望に合わせた時間帯で運行となるとNPO法人のような団体を立ち上げるしかないのかと思っています。

#### ○会長

ご意見ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

#### ○佐々木徹委員

地域公共交通と議題にありますけれども、本来ひとり暮らしとか高齢者の問題は各家庭の問題だと思います。交通の問題と共にそちらの方も併せて考えた方がいいと思います。

#### ○市民サービス課長

テーマは地域公共交通と謳っていますが、根底には高齢者福祉の問題があります。、高齢者福祉の観点から捉えていただいても結構ですので、地域公共交通に関して、広くご意見を伺いたいと考えています。よろしく願いいたします。

#### ○会長

次回の協議会開催まで、よいアイデアをお願いしたいと思います。  
地域公共交通についての提言について、他にございますか。  
なければ、以上といたします。

(「異議なし」の声あり)

事務局からの説明は以上のようなのですが、ほかに事務局から何かございますか。

#### ○事務局（地域活性化推進室 及川）

今年度の神岡地域協議会の委員研修について、説明させていただきます。

10月開催の第4回地域協議会終了後に実施いたします。研修先の候補地について委員の皆様からご提案がありましたらお願いいたします。

○会長

行ってみたい所など、ご意見のある方はお願いいたします。

事務局案があればたたき台として、お願いします。

○事務局（地域活性化推進室 及川）

ご提案が無ければ、昨年同様、会長と事務局の方に一任して頂ければと思います。候補といたしまして、旬であります「はなび・アム」、アーカイブスの見学を考えておりますが、いかがでしょうか。期日は10月11日、22日、29日のいずれかを考えております。

○会長

ただ今の説明につきまして、何かございませんか。

○久米川 和行委員

研修の目的を教えてください。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

基本的には、委員の皆様にご地域の知識を深めていただくということが、一番の目的となっておりますが、それ以外にも市外の地域活性化の先進地視察を行っております。ちなみに昨年は、災害が立て続けにございましたので、総合防災課、防災危機管理監にお越しいただきまして、大会議室を使って、防災に関する研修を実施した次第でございます。

○久米川 和行委員

目的によって行先も違ってくると思います。地域の事を深く知ろうというのであれば、近辺でいいと思いますが、他の地域でやっているまちづくりの活性化につながっている現状を神岡地域にフィードバックして、こちらの特色を活かした地域活性化につなげる目的となってくると行先も変わってくると思うので、目的をはっきりさせてから行先の選定をしていただきたいと思います。

○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

ご意見、ありがとうございます。

○久米川 和行委員

予算は、どれくらいでしょうか。

### ○事務局（地域活性推進室 及川主任）

研修に関しての予算はございませんので、地域協議会終了後に研修会を行う形がベストと考えております。先ほどご指摘のあった市以外の情報収集が目的ということで言いますと、一昨年、羽後町のおたがいさまスーパーと移住定住の住まいの見学に行っております。

今年は、大仙市内も新しい建物ができましたので、目的を新しくできた公共施設を見学するというふうにしたらどうでしょうか。

### ○久米川 和行委員

わかりました。地域協議会の組織だから聞ける話や行ける場所というのがあると思います。個人で行ける場所というのは個人で行けばいい話なので、地域協議会の組織としての動きというのは大切と考えますのでそこを加味して頂いて決めて欲しいと思います。

### ○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

どうしても午後の時間帯の研修になりますので、県外での研修は難しいかと考えますが、行きたい候補地があれば県外でも検討いたしますので、目的と合わせまして、ご提案頂ければと思います。

### ○支所長

補足ですが、県外は厳しいところがありますが、県内であれば、地域協議会の開催の仕方によっては市内と限らずに、日程は組めるのではないかと考えます。以前もにかほ市、陣屋の視察に行った経緯がございます。久米川委員のお話しにありましたが地域協議会として行う研修という点は非常に大事な点であると思います。バスの関係上期日が決定しておりますが、この後会長と相談いたしまして、より良い研修にしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

### ○久米川 和行委員

是非お願いしたいと思います。必ずどこかに行かなくても講師の方を呼んで勉強会を行うのも良いと思います。行政だから呼べる方もいらっしゃると思いますのでそのような形でも良いと思います。

### ○会長

皆さんは、「はなびアム」は行かれましたか。今回は地域を知ろうという事で「はなび・アム」の原案でしたが、今後、久米川委員のご意見も参考にさせていただいて、早めにご案内させていただきたいと思います。是非のたくさんの方に参加していただ

きたいと思います。

## ○会長

本日予定の案件は以上ですが、他に委員の皆様からご提案、ご提言ございますでしょうか。

## ○久米川 和行

神岡地域文化祭についてですが、神岡地域で一番大きい行事ですので、予算や参加団体を増やしてもう少し盛り上げてできないものかと思いました。とてももったいない感じがしています。小中学校との関わりも深めて盛り上げていくべきと思います。昔は町民体育祭や雪像コンテストが部落対抗でありましたが、それも無くなって、旧神岡町民が集まるイベントというのは神岡地域文化祭だけです。神岡南外花火もありますが、それぞれ個人で見に来るだけですので、小、中学校含めた大きなイベントとして計画していくことを次年度から検討して頂ければと思います。

## ○黒川神岡中央公民館長

現在、子どもたちも少なくなってきた中で、だけっこ園、小、中学校にご協力いただいて、やっとあれだけの人数が集まるというのが実情です。他に高齢者の皆さんの講座や趣味のサークルなどは年1回の発表の機会を楽しみにされている方も多くいらっしゃいます。やはり、いかんせん人口が少ないという事が盛り上がりやや欠ける原因の一つかと思います。また、人寄せをするようなイベントをやる予算がもう少しあれば、神岡以外からの集客をのぞめるようなこともできるのではないかと思います。委員の皆さんからも「こういうことをやってみたらどうか」というご提案をいただければ、予算の増額も含めて来年度に向けて、検討してみたいと思います。

## ○事務局（地域活性化推進室 及川主任）

予算に関しては、市民協働型ですので上限はなく、事業を拡充するための増額についても協議会の皆様の承認をいただければ実施できる予算となっております。来年度以降より良い事業にするために検討したいと思います。

## ○会長

地域文化祭と合わせて、先ほどガイドラインの変更の部分で地域緊急型について説明がありましたが、こちら地域協議会委員としてご意見等ありましたら、事務局まで提案していただきたいと思います。せっかく設けていただいた部分ですので活用したいと思います。

他に何かございませんか。ないようであれば、本日の協議は終了させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ご協力ありがとうございました。これをもちまして、第3回地域協議会を閉じさせていただきます。

(11時24分 閉会)

---

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

今 真 弓

---

高 橋 しげ子

---